

2025年3月28日

一般社団法人 八大学工学系連合会 声明
未来を創る女性理工系人材と博士人材を社会へ
～工学のいまを皆様へ～

社会は女性と博士の活躍を求めています。現在、社会が直面する課題は、少子高齢化、気候変動、貧困など複雑さと困難さを増しており、多様な価値観と新たな知恵をもって課題に向き合う必要があります。工学分野においてもイノベーション創出に不可欠な要素として、女性と博士に対する期待は大きくなっています。北海道大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の工学系学部・研究科などで構成する一般社団法人八大学工学系連合会は、社会の要請に応えるため、未来を創る女性理工系人材と博士人材の育成を推進します。

産業界では工学系や数理・データサイエンス、AI系を中心とした女性理工系人材の採用意欲が高く、「積極的に採用したい」、「今後採用を拡大する方向」と答える企業が60%以上と報告されている*1にも関わらず、八大学における工学系学部の女子学生比率は13%です*2。そこで、各大学では工学を知って、選んでもらうべく、女子枠入試を導入し、工学部に来てもらいやすい仕組みづくりを進めております。また、様々なイベントを開催して最新の工学の幅広さ、楽しさを発信しており、女子の理工系学部への入学者数は徐々に増えていますが、女子比率は未だ低い状況です。女性理工系人材の活躍が期待される分野は今後ますます拡大することが予想されますので、現役学生の声や卒業生修了生の活躍を紹介し、実際の理工系分野における女性を知っていただくなど、小中高校生、先生、保護者の皆様に興味をもっていただけるような取り組みを一層進めます。

国際競争力を向上し、社会課題の解決に貢献する高度専門人材が求められているにも関わらず、博士号取得者は主要国では増加傾向にある一方、我が国では低水準かつ横ばい傾向です*3。八大学においては工学系修士の博士進学率は13%に留まっています*2。政府の施策により博士に対する経済的支援が充実してきており、トランスファラブルスキル教育やアントレプレナーシップの涵養について先進的な取り組みが進んできています。これらの展開や産学協創により、社会と大学の双方向教育を推進し、「専門を深掘する博士」だけでなく、「新しい価値を創造する人材」、「イノベーションを創出できる人材」を育成し、博士人材の増強に努めます。

女性の理系進路に関する偏った見方、先入観を無くし、博士の価値について評価を得るには社会の理解が必要です。工学のいまを皆様にお知らせし、女子学生比率向上や博士学生の増強に向けた活動を全国各地域で展開していきます。こうした取組の情報発信のため、「つながる工学ウェブ (<https://8uea.org/sp/>)」を開設し、八大学で行うジェンダーバランスと博士応援のための取組をまとめてご覧頂けるように致しました。

引用元：

- *1 一般社団法人 日本経済団体連合会 博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に向けた提言 2024年2月20日
- *2 一般社団法人八大学工学系連合会 第6回公開シンポジウム-産業界で輝く女性と博士- 講演5 「博士課程進学率と女子学生比率向上のための調査結果」 2024年3月29日
- *3 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術指標 2023 2023年8月